

## 「主の祈り」を祈る マタイ 6:9-13

2023. 7. 2、丘の上 NO. 703

春日部福音自由教会 山田豊

初めて教会の礼拝に出た時、プログラムの中でも皆さんが、同じ文言を何も見ないでお祈りしている様子に驚きました。それが「主の祈り」であり、今も変わらず同じ言葉で自分も祈っているわけで、これも驚きです。

「主の祈り」は、主イエスの教えてくださった祈りなので、あらゆる教派のキリスト教会で祈られています。もちろん、個人でも祈ることができます。週に一度ではなく、毎日、いつでもどこでも祈ることができるのです。単に言葉を合わせて唱和する、ということに収まる祈りではないことは、言うまでもないことでしょう。この「主の祈り」については、教会の祈り会でさらに深く学び、味わうことによって、私たちの信仰生活の成長にも役立つこととなると思います。

マタイの福音書では、ユダヤ人の善行として施し、祈り、断食の3つのことが挙げられています。「主の祈り」は、その一つである祈りに関連してイエスが語った言葉として記されています。ルカの福音書11章にも、ほぼ同じ言葉で「主の祈り」が記されています。こちらは、ある場所で祈っていたイエスに、弟子たちが祈りを教えてくださいと尋ねたことへの応答として、イエスが語られたということになっています。これは、イエスが折にかなって祈りについて教え、「主の祈り」をともに祈っていたことをうかがわせるものだと思います。この祈りの中で私たちが行う上で難しいと思うのは、他の人をゆるすということだと思います。マタイもルカも、「主の祈り」との関連で、赦しのことを記しています。このゆるしの文言で、ぐっと詰まってしまう方がいるかもしれません。私たちが他の人をゆるす前に、じつは、神のゆるしがあることを心に留めましょう。すべてのことは、神からきているのです。

私たちの教会では、「主の祈り」を文語体で祈っています。若い人たちにとって、意味があまりわからないかもしれません。礼拝の中でこの部分だけはあえて文語にしている、これは日本人としてことばを大切にしていきたいという思いの現れです。現在では、この祈りの元となっている聖書自体が新しい翻訳になっています。カトリック、聖公会、ルーテル教会と共通の言葉で「主の祈り」が祈られています。祈りの文言が、新しくなっているのです。当教会も、やがてそのようになるかもしれません。

どのような祈りのことばであろうとも、主イエスが教えてくださった大切な祈りであることを心に留めて祈る生活こそが、大切なものであることを改めて教えられるのです。

## 引用聖句

ルカ 11:1-4 1 さて、イエスはある場所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに言った。「主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。」そこでイエスは彼らに言われた。「祈るときには、こう言いなさい。『父よ、御名が聖なるものとされますように。御国が来ますように。私たちの日ごとの糧を、毎日お与えください。私たちの罪をお赦してください。私たちも私たちに負い目のある者をみな赦します。私たちを試みにあわせないでください。』」

2コリント 5:18,19 これらのことはすべて、神から出ています。神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました。19 すなわち、神はキリストにあって、この世をご自分と和解させ、背きの責任を人々に負わせず、和解のことばを私たちに委ねられました。

## 共通口語訳

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。

アーメン。

\*プロテスタントで頌栄に当たる部分は、以下のようになっている

(司祭)

いつくしみ深い父よ、全ての悪からわたしたちを救い

世界に平和をお与えください。

あなたのあわれみに支えられて、罪から解放され

すべて困難に打ち勝つことができますように

私たちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます。

(会衆)

国と力と栄光は、永遠にあなたのもの